**加賀市長からのメッセージ　第030号　5月23日配信**

先日、「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録を目指す全国推進協議会のメンバーとして、山代・山中・片山津の３温泉の旅館関係者の皆様が表敬くださいました。来年の国内選定に向けての署名活動へご尽力いただいており、市内で１万人の署名を目指していると伺いました。

「温泉文化」は加賀温泉郷のある当市にとっては切っても切り離せない存在です。1300年の歴史を持つ山代温泉、松尾芭蕉も訪れた山中温泉、風光明媚な湖畔が広がる片山津温泉。それぞれに異なる魅力を持ちながら、地元の方々の暮らしの中に根差し、癒しと交流の場として今日まで受け継がれてきたことは、まさに「日本の温泉文化」の豊かさを象徴するものです。

加賀市としましても、この歴史と文化を守り育て、次代へと継承することを使命とし、関係機関と連携しながら、引き続き全力で支援してまいります。市民の皆さまにおかれましても、この機運をともに盛り上げていただきますよう、温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

(令和７年５月23日号)

加賀市長　宮元　陸